限界集落・道行竈地区における関係人口の拡大

三重県南伊勢町 道行竈区

地域の概要

【南伊勢町】

平成17年に南勢町と南島町が合併
人口・・・　**10,420人**
高齢化率・・・**53.6%**
主な産業・・・水産業（漁獲量は三重県**No.1**）
　　農林業（**温州みかん**、柑橘類等）

伊勢志摩国立公園内の鵜倉園地

【道行竈（みちゆくがま）区】

人口・・・**31人（22世帯）（令和7年2月末現在）**
高齢化率・・・**70.9%（令和7年2月末現在）**
主な産業・・・**水稲を中心**とした農業集落

源平合戦のころ、平家の落人が入植したものの、先住者によって既に漁業権が握られていたため、塩竈を造り塩を焼き、わずかな耕地を開いて自活したという「平家落人伝説」が伝わる「南島八カ竈」（なんとうはっかかま）の一つ

道行竈の田んぼ

道行竈の入り江

地域の現状と課題

- 人口減少、高齢化による**耕作放棄地の増加**
- 担い手不足による**関係人口拡大**の必要性

- **日本酒プロジェクト**始動
- 地域住民の有志による**「チーム道行竈」**の結成
- 道行竈の酒造りが始まる

- 東大FS参加学生の受け入れ（2019年から過去4回受け入れ）
- JUON NETWORK「田畑の楽校」（農業ボランティアの実施）による田んぼの石拾いのボランティア受け入れ・集落散策等
- 大阪eco動物海洋専門学校・地元小学生との塩竈浜クリーンアップ

イベント自体は継続できても、参加者との交流は一回限りになりがち

交流を継続できる関わり方づくりに取り組む必要がある

これまでの活動

2018年 日本酒プロジェクト始動

2019年 純米大吟醸「道行竈」完成

2020年 チーム道行竈を法人化

2024年 東大FSの活動（三重テラス）

（東京）でのアイデアソン、現地報告会）

昨年度の東大FS参加学生の提案

愛着を持って
関わってくれる人を増やす

東大の学祭（五月祭）に
道行竈が出展予定！

具体的なプログラム

【東大生に期待したいこと】

- **歴代東大FS生と連携して協力できる体制づくり**
  - ・東京や道行竈などにおける、歴代東大FS生が関われるイベントの発案
  - ・SNSやnoteなどの情報発信ツールでの発信　など

FS生の活動が地域の宝として今後も残り、歴代FS生にとっても再び参加する喜びとなるようなプロジェクトの発案

さらに・・・

- 道行竈の取組や、それを含めた**「地域システム」が持続可能な形で継続できるようなアイデア**の検討と着手

具体的なプログラム

活動月	活動内容
６月～	顔合わせ（オンライン）月１～２回程度
８月～９月	まち歩きを通じた、日本酒プロジェクト・道行竈の歴史・竈方文化の学習　地域住民との交流（現地活動 候補①）
９月～１２月	関係人口構築のための企画打ち合わせ（オンライン）
１１月	新酒の販促・販売準備（現地活動 候補②）
２月上旬	他団体が実施する農作業体験への参加、関係人口構築のための企画の試行（現地活動 候補③）
３月上旬	道行竈にて現地報告会

※現地活動日：①～③のうち、いずれか２つを学生の皆さんと打ち合わせで決定